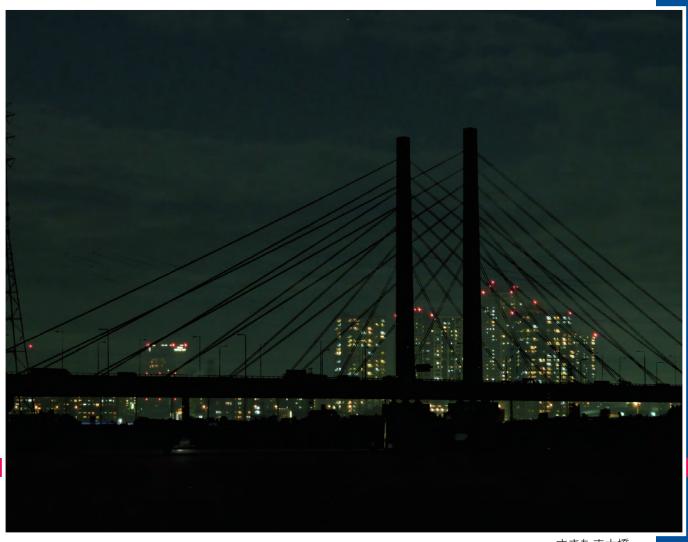


第116号 平成 22(2010) 年 11 月 1 日発行

URL http://www.saipia.net E-mail saiinkou@orion.ocn.ne.jp



さきたま大橋

印刷:株式会社埼京印刷(川口支部)[用紙提供:埼洋会]



印刷物の価格破壊 パートⅡ

前回、さいたま市の発行する印刷物へのコスト表示問題を取り上げた。納入価格表記が、なぜ印刷業者だけに適用されるのか未だに不可解な点が多い。業者間競争を無意味に煽り、企業体力、ひいては業界全体の体力を喪失させるだけの納得できない問題である。

もし他業種で、製品価格表示を行うようになったらどう なるのだろうか?官公庁への納入価格は、どの業界も破格 的な値付けである。それが広報誌等で掲載されたら、間違 いなく商売に支障をきたすだろう。

財政ひっ追の折、無駄をなくす、経費を削減する、職員のコスト意識を増す…等々、市の意向もわからないでもないが、私たちの大切な生命線ともいえる受注単価等の機密情報を、受注側に打診も無いまま、いとも簡単に広範囲に広報されてしまうのは、大切な契約履行上において、あっていいものだろうか?

市の財政危機を打破するという目的を達成する為には、 他にもっといい方法もありそうなものだが…。

最低制限価格制度の実施を目指して

そして今回、新たにご紹介するのは、埼玉県に対して 行った「印刷物の最低制限価格制度導入」請願の件である。 去る、平成22年9月16日 埼玉県印刷工業組合 新 井正敏理事長の名のもと、埼玉県議会議長宛てに請願を行った。

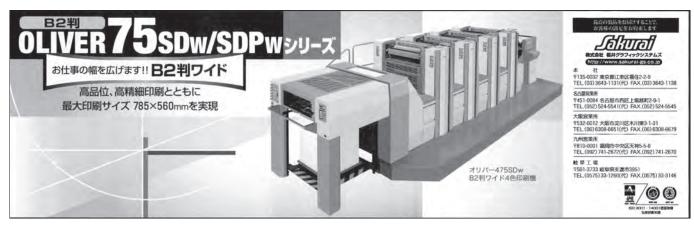
趣旨を「印刷物の見積り合せ及び入札において、最低 制限価格制度を導入したい。」とし、以下のような理由を 付した。 「埼玉県庁において印刷物の発注は電子入札及び見積り合わせ(以下、電子入札等)によっている。電子入札等は、品質やサービスの内容によらず単に価格のみの競争であることと、過去の入札等の結果が何年にもわたりインターネットで公開されているため、落札価格は年々下落して、現状は採算割れの受注が相次いでいるのが実態である。

この状況が続くと印刷業界において人員整理や廃業或いは倒産が生ずることが懸念される。企業の倒産等は雇用面においても税収面においても問題があるので、適正な範囲での競争を担保し、適正な価格での発注ができるように、最低制限化価格制度の導入を要請するものである。」というものである。

請願について若干説明させて頂く。請願は、県議会議 員の紹介を必要とし、委員会の審査後、本会議において採 択または不採択の決定を行い、採択と決定した場合、知事 その他の執行機関で処理するものは、その処理の経過及び 結果の報告を求めるものとしている。因みに陳情は、県議 会議員の紹介を必要とせず陳情文書表として議員に配布す るとしている。

そしてこの案件は、県議会において採択されてから、 行政側とのその対応を検討する段階を経て、いよいよ実現 に向けて動き出すことになるのである。

埼印工も埼玉県に対して何年もの間、度重なる交渉をしてきたが、なかなかラチが開かず、相当の労力を費やしやっとの思いで土俵に上がれそうなところまできた。他県においても同業者が、全国各地で同様の苦労されているのだが、議会での採択を受けてから内容を具現化し、実現を図るまで、「行政側との検討も根気がいる」とのアドバイスも頂いている。採択を受けたとしてもまだまだ相当の努



力が必要なようだ。

「最低制限価格制度」そのものにも注意を払わねばならない。特に、最低制限価格が毎年、下落していくことや、「物品購入」から「製造請負」と形ばかりの発注形態の変更で中身は変わらず、などということもあり得るとのことなので、先陣を切って導入されている他県からの情報なども参考に、様々な注意を払って検討していきたいものである。

さいたま市への交渉、埼玉県への請願は、新井理事長 や岩渕副理事長が中心になって、私たちの声を反映すべく 先陣を切って行動されていて感謝である。

また、それは今まで努力されてきた歴代の執行部の方々の集積の願いでもあり、埼印工組合員全員の願いでもある。 一日でも早くいい結果を皆様にお伝えする為にも、成果を期待するだけでなく、是非とも応援の声や良きアドバイスを執行部に送って頂けたら幸いです。

Web での営業攻勢にどう対処する?

価格破壊は、官公庁だけではなく、むしろ民間のほう が身近な痛手を被っているかもしれない。

民間での厳しさも、ネットがまるで役所の入札制度の 模倣のように、様々な印刷業者が自らの首を締め付けるよ うな値下げ競争が繰りひろげられている。

そんな事態を消費者はどう思っているのだろう?以下は、よく印刷物を印刷屋さんに発注されている方のコメントである。

「チラシだとか、カタログだとかの印刷をすること最近何度かあったが、とても安い! WEB でデータを受け付けて印刷する業者などは特に安い! 品質もまあ許せるくらい。

そんなゲリラ印刷屋さんと戦う街の印刷屋さんはなかなか大変なようだ。かわいそうだったが、見積りをもらったときに、あっちだと○○円だったよと言うと、親切丁寧になぜ安くできるかを教えてくれた。

そして、さらに印刷会社の営業さんは、いつもよりかなり安い見積を再提出してくれた。でも、値段では絶対にかなわない…

さて、どっちに発注したらいいんだろう?高い方に発

注するにはそれなりの理由も必要だ。最終的に今回は値段 以外のファクターを重視して高い方へ発注した。でも、次 回はどっちに発注するかは俺にもわからない。」

この方の場合は、まだ理解を示してくれている方だが、これ以上の強烈なメッセージがインターネットにはいくつも出てくる。印刷発注者の方の声を聞く意味でも是非ご覧あれ。いろいろな刺激を得るが、それが現実であり、正面から受け止め、今後の糧とせざるをえない。

いずれにしても、「価格」は市場での要望で大きなウエイトを占めるようになっており、従来の経営を常識としていると会社経営はかなり厳しくなる。そして、社会環境が短時間にこれだけ変化してきている現在、何らかの対策が必要なことくらい誰もがわかっていることである。

知恵を出し合う組合活動

全印工連が、「業態変革」について2005計画から推進・実践プランをテキストとして冊子にまとめ、特徴をもった企業への展開を推し進めてきた。とても良い指標である。しかし、良い示唆だとわかってもなかなか行動にまで至れない実態が大半ではないだろうか。

そんな今、組合の存在が貴重なものになるかもしれない。何をするにも不安を感じる現在だからこそ、相談や協調できる仲間のいる組合を利用すべきである。

価格破壊は、私たち同業者の共通問題。一人で悩むことなく、皆で知恵と実行力を出し合ってこの難局を乗り切っていきましょう。



=経済的で使いやすいレンタルウエス= ラフト資材株式会社 代表取締役 小野義樹

E-Mail:fwhd2901@mb.infoweb.ne.jp

URL:http://www.raft-inc.ne.jp

本社/営業部: 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 4-14-35

tel:03-3965-7231 fax:03-3967-8795

美里工場: 〒367-0102 埼玉県児玉郡美里町関 280-1 (iso14001 認証取得) tel:0495-76-1315 fax:0495-76-2742

デジタル化の脅威 ・一般新トレンドを追う ・この2

JAGAT 印刷白書 2010 によると印刷業のクロスメディア化は必然の流れらしいとあります。効果的な企画提案能力が問われるらしいですが、印刷業にとってすでに紙以外の媒体にも守備範囲を広げる必要性を説いております。約20年程前に会社案内は紙から「ビデオ」になるとの予見があり VTR作成を手がけた印刷会社も見受けられました。その後現れたインターネットの登場によりあっという間にWeb にその座を奪われてしまいました。将来を予見しその対策をとるのは簡単なようで難しいと思われます。

5. 倒産・廃業、業界の縮小

某印刷機メーカのによると、ドイツではこの5年間で14,000社の印刷会社(172,000人の従業員)が5,000社(同74,000人)に減少すると予測しております。ほぼ1/3です!日本もここまでは極端でないにしろゆるやかに減少していくのは避けられそうにありません。印刷業は景気に左右さ

れない優良業種と言われたのは過去の物となりました。今 後印刷業が淘汰、廃業に追い込まれるのがトレンドになる ことは間違いなさそうです。

一方快進撃を続ける印刷通販も、全世界的に発注を受け付けて事業拡大しているところも出てきました。国内の通 販も更なるコストダウン?のために中国人研修生の受け入 れと、中国現地生産を考えている所もあるようです。

印刷屋開業のハードルは限りなく下がっているのですが、マーケットは確実に縮小を続けているようです。我々の存亡は如何に?

6. クロスメディア

JAGATによる会員企業の意識調査では、意欲的なジャンルキーワードとして①プリントオンデマンド、②デジタルサイネージ、そして③電子書籍がその候補として有力とあります。これら技術は現在の印刷版下データを2次的に利用するためワンソース・マルチユースの典型であり有効



印刷機材の総合商社 KINSEISHA CO. LTD. 株式会社錦精社



INKDRY PLUS

【機器販売】

アダストドミナント印刷機械総販売元 INKDRY PLUS (IR乾燥装置) 印刷機・DTP関連機器製版・断裁・製本機械

◇ JK泉浜果果
◇ 〒 326,007

さいたま支店

- ◇ JR京浜東北線北浦和駅下車 徒歩15分
- ◇ 〒 336-0072 さいたま市浦和区領家 5-12-16
- 印刷用資材(PS版・インキ・薬品・その他) ◇ TEL 048-886-8781 FAX 048-886-8855

第三者認証だから信頼できる

FSC森林認証 名刺・はがき・封筒

「FSCマーク」は適切な森林管理のもとに 生まれた木材が正しく加工・流通されて いることを証明するマークです。 認証なしには刷り込みできません。「FSC マーク」印刷済の当製品をご利用下さい。

山機は、FSC森林認証紙製品における売上金額の 1%をWWF(世界自然保護基金)に寄付いたします

川櫻



CU-COC-805541

C 1996 Forest Stewardship Council A.C.

FSCの恋証製品をご購入いただくことは、 世界の森林の責任ある信号推進に役立ちます。

株式会社 山 櫻 大宮支店 〒331-0814 さいたま市北区東大成町2-516 http://www.yamazakura.co.jp **TEL.048-663-1982** FAX.048-663-3510

類 ムトウユニパック

77Z

よいものだけを・・・

身近な春らしの中で活躍する封筒やDMなどを中心に、 販売促進支援ツールからオフィス用品まで、豊富なラインアップをご用意。 「よいものだけを・・・」というコンセプトのもと、 常に人と人の心のふれあいの原点を見つめ続け、 高品質なコミュニケーションツールをお届けしてきたムトウユニバックが。 あらゆるビジネスニーズにきめ細かくお応えします。

●封筒事業 名刺・カード事業 ■手提後事業 エコロジー商品 ・SP支援事業 ダイレクトメールサービス事業

> さいたま支店/埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-698-1 TEL 048-647-6100代 FAX 048-644-4414 http://www.mutoh-u.co.jp

活用が求められます。

今までの印刷業の前工程での処理メニューが増えることになりますので利益を確保するチャンスが増えるともいえます。しかしWebまで守備範囲にいれようとしますと意外にそのハードルは高くなるのではないでしょうか?Web屋から印刷を攻めるか、印刷屋からWebを攻めるが有利か。数年したら結論が出るかもしれません。似ているのですが案外水と油のように思います。

オンデマンド印刷については、顧客側で設備するより印刷屋に外注し、製本後に出前してもらうのが一番コスト的に安くなるのではないでしょうか。軽自動車のスズキが社長の一言で各部署にあったカラー出力機を撤去したとか。カラー出力機も導入のハードルは限りなく低く、維持費は高く設定されているためです。ネット入稿から即出力、お届けする「印刷屋近場有利の法則」が復活しそうです。

7.JapanColor とそのプロファイル

どこで刷っても同じ色が再現できる。こんな望ましいものはありません。それを実現するために日本のプロセス印刷の標準色を規定しようとの議論があります。印刷物はベタ濃度のLab値とドットゲインをある幅以内に抑えれば同じ色味を再現できるといえます。(厳密にはトラッピング値も加味されますが...)

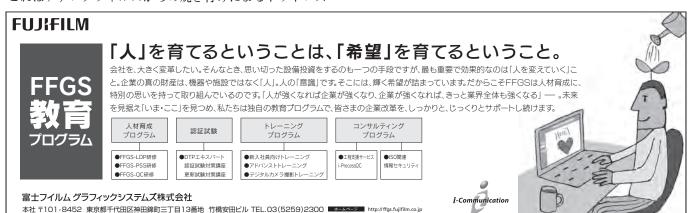
現在 DTP ソフトで使われている JapanColor のプロファイルはアナログ製版時の規定 JapanColor2001 です。(各種組版ソフトに同梱されていますプロファイルがそうです。)これはアナログフィルムからの焼き付けによるドットロス

(-5%位)を考慮に入れているため、現在主流のCTPでは問題があります。(CTPではドットゲイン3%程度)そこでJapanColor2007が制定されるに至りました。ところが、この規定に準拠するための印刷物が受け入れられるかが問題です。本来日本で流通している印刷物の最大公約数の色が目標値となるべきと思われるのですが、これから外れているのです。これを印刷基準としますと今まで規定していた社内基準とダブルスタンダードになる可能性が高いのです。

また色校正が正しく出力されているかどうかの認証であるマッチング認証も始まろうとしています。これも基準であるオフセット印刷の色が決まりませんと規定出来ません。これら問題を解決した JapanColor2011 ? が再策定されるはずです。 しかし資材メーカー利害が絡んでおりますので、許容範囲を広げれば意味がなくなり、狭めれば認証企業が減る、すなわち規格そのものの意味がなくなる…のジレンマになります。

おわりに

CTP、インターネットの普及と不景気が同時にやってきた現在、次の一手が非常に難しくなりました。印刷通販は毎年倍々の伸びを記録しているらしいのですが、生き残れるのは数社だとも言われております。役所の電子入札に代表される「安けりゃいい」だけの時代が早く終わっていただきたいものです。われわれの時代には無理なのでしょうか?





それは、印刷関連業務に特化した 人材派遣・紹介を展開しているのは、 モトヤだけだから...



MOTOYA

モトヤでは

「印刷のプロを養成し、必要なときに、必要な期間だけ派遣する」

印刷に特化した人材派遣事業を展開しています。 (派遣事業許可番号 般 27-030254/紹介事業許可番号 27-2-030174)

特に今、経験豊かな中高年齢層の印刷オペレー タや印刷進行管理の経験者の皆様の人材登録と お仕事の紹介を積極的に行なっています。

■お問合せ モトヤ人材派遣部 東京 ☎(03)3523-8719

埼印工のうごき

MUD セミナー開催

今、埼印工組が、一番に力を注いでいるのが「メディア・ユニバーサル・デザイン」すなわち「MUD」です。組合員のなかでは、浸透して来ているのでないでしょうか。

9月29日(水) MUDセミナーが開催されました。会場は定員オーバーに近い約90人が参加され、MUD協会の伊藤裕道理事長の丁寧かつ力のこもった解説のお陰もあり、とても実のあるセミナーとなり大盛況となりました。MUDとは・・

簡単な説明となりますが、すべての人が暮らしやすい社会を実現させる中で、情報の87%が視覚メディアから得られる事から、色や文字の使い方、情報の内容・伝達方法など音声も含めて配慮することで、高齢者、障がい者(肢体不自由者・弱視者・色覚障がい者ほか)子供、外国人、

もちろん一般の人など、より多くの人が見やすく使いやすいデザインで作る事です。国内で視覚にハンディキャップのある人は人口の4分の1にあたる約3280万人と言われています。高齢者も含めますとMUDは、日常生活に必要とされる存在になる、可能性が大きいと考えられます。



2011 MUD コンペティション

平成23年

表彰式:





2011 MUD コンペティション開催

2011 第1回 MUD コンペティションが開催されます。作品のテーマは「彩り埼玉」です。ユニバーサルデザインの手法を用いて自由に表現した作品をお待ちしております。

応募の作品の例としては、ポスター、 チラシ、パンフレット、マップ、かるた、 トランプ、カレンダーなどなど……

詳しい応募方法は右記の他、埼玉県 印刷工業組合のサイトをご覧くださ い。

7		2月1日(火) ⇒4月20日(水) ※必着
-	募集テーマ:	「彩り埼玉」 みなさんの豊かな感性で全国に誇れる「埼玉」の素晴らしさを、メディア・ユニバーサル・デザインの手法を用いて自由に表現してください。
	応募作品:	学生部門:埼玉県内の主に高校・短大・大学・専門学校に通う方 一般部門:印刷会社・企画制作会社等、特に制限はありません
`	出品料:	学生部門:無料 一般部門:応募作品1点につき3,000円
	応募方法:	作品 1 点 (印刷物または出力紙) とそのデータ (CD-R に jpeg/eps/ai 形式で保存したもの)を、出品申込書・出品応募票とともにお送りください。出品申込書及び出品応募票につきましては、埼玉県印刷工業組合ホームページよりダウンロードして下さい。
į	審査日:	平成23年4月下旬
\$	審査結果発表:	平成23年5月上旬 ※入選者のみに入選通知書をお送りします。
		埼玉県知事賞 表彰状・副賞 さいたま市長賞 表彰状・副賞 埼玉県教育長賞 表彰状・副賞 ・

平成23年5月19日(木)埼玉県印刷工業組合総会にて表彰式を行います。

こちらのページ(8p)はタイトル・本文を UD フォントにて作成しております。



埼印工のうごき

第13回親睦ウォーキング大会が開催される

平成22年9月26日(日)、第13回埼印工ウォーキング大 会が、武蔵丘陵森林公園南口に於いて開催されました。今年は 夏が極暑だったためか申込が少なく、212名の参加で開催さ れました。

昨年チェックワードを使っての抽選が好評だったので、今年 は文字を変え3箇所に配置しました。本部席に到着しての抽選 ではお楽しみ頂けたのではないかと思います。今回のチェック ポイントでの飲物配布で、森林公園内の飲物業者との行き違い があり、早くに回った一部の方に飲物をお渡しできないミスが ありました、ここでお詫び申し上げます。あの夏の異常な暑さ も過ぎ、清々しい初秋の気候に恵まれてのウォーキング大会で、 執行部役員、大宮・熊谷支部役員・青年部役員の協力の下、参加 者は爽やかな秋風に吹かれながら森林浴を楽しんでいただいた ようです。

~国営武蔵丘陵森林公園にて











Tingai ISO9001認証取得

TFTカラーディスプレイコンピュータ断裁機 NCW-D7シリーズ(160.137.116.102)

一貫生産だからできる自信と信頼

株式会社 永井機械製作所

〒332-0031 埼玉県川口市青木4-3-11 TEL 048-251-0901 FAX 048-255-4674



埼印工のうごき

2010全日本印刷文化典 岐阜大会開催さる

~岐阜グランドホテルにて

平成22年10月15日~16日、岐阜県グランドホテルに於いて『乱世を生き抜く!「信長の革新性に学ぶ」』をテーマに、全日本印刷文化典岐阜大会が開催されました。記念式典で岐阜県工組四橋理事長が「厳しい経済状況に加え、今年は電子書籍元年と言われ先が見えにくい状況です。このような時こそ、織田信長の革新性に学ぶ、と言うテーマを掲げました。今後のあり方について情報交換を行って欲しいと思います。」と述べました。続いて水上会長が「印刷業にもサービス業、情報産業としての役割が求められています。この岐阜を印刷の将来を思考する有意義な議論の場にしていただきたいと思います。」と述べました。

表彰式では、印刷産業発達功労者顕彰、組合功労者顕彰、 研究開発功労者顕彰、優良従業員表彰が行われました。 埼 印工組では組合功労者顕彰に、金森晃一氏(ときわ印刷 ㈱)、飯田勇氏(街埼玉平版飯田印刷所)、夏目氏(夏目印 刷)が受賞されました。 「全印工連メッセージ」では、水上会長が「印刷ビズネスこれからの10年」をテーマに講演され、続いて業態変革推進企画室がめざすもの、印刷産業ビジョン研究会がめざすものが発表されました。



記念講演会は、文化典と同じテーマの「乱世を生き抜く! 信長の革新性に学ぶ」を演題に、静岡大学名誉教授の小和 田哲男氏により開催されました。

翌16日に、全印工連フォーラムが開催されました。産 業戦略デザイン室委員長島野氏が、「ソリューション・プロバイダーへの進化」を発表し、パネルディスカッションが行われました。

組合功労者表彰受賞のことば

この度、全日本印刷工業組合連合会の全国大会におきまして、埼印工組から3名の方が組合功労者顕彰を受賞いたしました。金森晃一氏(ときわ印刷㈱)、飯田勇氏(何)埼玉平版飯田印刷所)、夏目氏(夏目印刷)より受賞のよろこびの言葉を頂戴いたしました。

夏目印刷 代表 夏目 義夫

この度、全日本印刷工業組合様より、組合功労者として顕彰していただき 誠に光栄であります。これも偏に埼印工組役員の皆様、支部員の皆様ご指導、 ご協力の賜と深く感謝申し上げます。今後も一組合員として精進して参ります。 組合員様の益々のご発展をお祈り申し上げ、お礼の言葉とします。ありがとうございました。



ときわ印刷株式会社

会長 金森 晃一

この度、全日本印刷工業組合連合会の全国大会に於いて組合功労顕彰を 受賞しましたことは誠に光栄であります。これもひとえに、埼印工組歴代理事様 をはじめ役員の皆様のご指導、ご協力の賜と心より感謝申し上げます。 皆様の益々のご発展とご健康をお祈り申し上げお礼の言葉と致します、ありがとうございました。



(有)埼玉平版飯田印刷所

代表取締役 飯田 勇

この度、全日本印刷工業組合連合会様より全国大会に於いて組合功労者顕彰を いただきましたことは誠に光栄であります。これもひとえに歴代理事長様をはじめ 役員の皆様のご指導ご協力の賜と深く感謝申し上げます。今後も組合活動に協力して参ります ので、尚一層のご指導の程よろしくお願い致します。ありがとうございました。



年部のペ-

・今年の夏は、暑かった!青年部会の暑気払い 青年部会会長 惠 勇人

8月21日(土)熊谷で恒例の、暑気払いを行いました。 今回は、皆さんの大切な時間を有効に生かすために、富 士フィルム・グラフィック・システムズ様の提案もあり、 横浜で開催された「プリメディックス」の報告&勉強会を 開き、講師で技術部部長の鍛冶田様の真面目なお話を、真 面目に勉強致しました。

勉強会終了後は、会場を移して、いつも通りの青年部会 に戻り、明るく、楽しいお酒と、食事で暑さを忘れ充実し た会となりました。

・全青協からの報告

2010年度全国青年印刷人協議会 関東甲信越静ブ ロック協議会が、10月1日(金)横浜で開催されました。

会場の横浜開港記念会館は、国の重要文化財でもある西 洋建築で、さすが横浜と思えるレトロでお洒落な会場で厳 粛な空気の中、行われました。

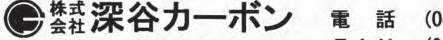
今回のテーマは「CSR | です。「企業の社会的責任 | ですが、みなさん具体的に考えた事はありますか。コンプ ライアンス・品質・雇用・環境・セキュリティ・財務・社 会貢献etc・・この様な問題に「CSRとは」から始ま り、関わる現状や取り組み方などを、副議長の3人が熱く プレゼンされました。内容が濃過ぎて全て頭に入ってない のが本音ですが、厳しいこの業界で 私たちが生き残る為 のヒントが隠されているではないかと、感じさせる内容で した。是非 埼玉で「CSR | のセミナーを開催したいと 思った私でした。

オブザーバーで参加して頂いた、直々前会長の高橋さん ありがとう御座いました。

バックカーボン・ナンバーリング印刷

カッターミシン・伝票丁合 セパレートワックス・減感加工

信頼と技術、ガッツなパートナ



電 話 (048) 5 2 0 - 1 6 4 9 (048) 5 2 0 - 1 4 1 0 FAX

代表取締役 深町

埼玉県熊谷市上川上952-5 ホームページ http://www.ksky.ne.jp/~youichi/



本 社 〒379-2154 前橋市野中町158-1 TEL027(261)7000(代) FAX027(261)7700 宇都宮営業所 〒320-0843 宇都宮市花園町17-1 TEL028(633)8324(代) FAX028(635)8385 埼玉営業所 〒360-0012 熊谷市上之540-15 TEL048(521)9851(代) FAX048(527)0562

埼印Tのうごき

関東甲信越静地区協議会開かる

平成22年7月2日(金)千葉京成ホテルミラマーレにお いて関東甲信越静地区協議会が開催されました。



◇経営革新・マーケティング委員会

経営イノベーションの研究では、経営ドックを印刷業向 けにカスタマイズして23年度から実施、全組合員向けに は冊子、経営羅針盤を作成し、セミナーを行っていく予定。 マーケット創造は来年4月に中間報告、10月に最終報 告を行えるようなスケジュールで進める。

印刷物の料金、Webの影響、ワンストップの具体的実践 例への要望、ipad などデジタル化への対応、広報のあり 方などの提案が提出された。

◇環境委員会

印刷用紙の総合評価値の導入、改正廃棄物処理法、環境 対応アンケートの実施等についての説明を行った。

グリーンプリンティング (GP) 認定を取得したからと いって官公需の入札で差別化が図れるわけではなくメリッ トがない。

入札参加資格にGP認定取得企業という要件を加えるよ うに働きかけてほしいとの要望が出された。

◇組織・共済委員会

組合員異動状況報告、助成金の活用、保険会社からの共 済事業の説明、組合員台帳調査への協力等を行った。

共済キャンペーンの重点工組は、新潟工組と山梨工組に お願いする。

各組合の財政に共済は大きく貢献していることを説明し た。

組合加入に関して、後継者の育成や関連業の加入を検討 してはどうかとの意見があった。

◇教育·労務委員会

ホワイトカラーの教育、5Mの中のマネジメントとメ ジャーメントに絞って、印刷会社の体力強化を取り上げて 進める。

◇広報専門委員会

各工組の機関紙の発行やHPの状況などについての意見 交換をした。

◇官公需対策専門委員会

最低制限価格制度の導入、電子入札の導入、価格表示な どについて各県の状況報告。

業者のモラル低下、アウトサイダーの多さが指摘され、 組合員を増やしてモラルのある業者を増やすことが、適正 価格を確保する道である。

電子入札については、オープンカウンター方式が増えて 価格がさらに低下していること、最低制限価格制度の運用 も官庁がしっかり積算してくれないと、逆に受注価格が下 がる恐れがあること等の意見が出された。

印刷物の価格表示について、さいたま市では組合に何の 相談もなく導入されてしまった。今後、撤回に向けて粘り 強く運動していくことが確認された。

350-0856

洋紙のご需要は地元埼玉の洋紙店にお願いします■

356-0011 (株) 溝 330-0004 さいたま市見沼区卸町 ふじみ野市福岡五六二 洋 紙 ☎○四八(六八五)○七一一 〇四九(二五三)四九八五 (株) 出 **吉岡** 薫 **満口 泰男** 代表取締役社長

367-0047 武 本庄市前原二—三— 五. ☎○四九五(二四)一一七

行田市天満 紙 īF (株))四八(五五六)四四〇 (株) **肥留川** 代表取締役社

361-0076 埼

玉

(株) 104-0053 共 東京都中央区晴海三—十二—一

☎○三(五五四八)七五二二 郡司 勝美代表取締役社長 355-0328 (株) 塚 紙 店

比企郡小川町大塚

☎○四九三(七二)○○三○

☎○四九(二三二四)五二一 **浅海 廣** 代表取締役社長

支部だより

十四日会ソフトボール大会

連日の猛暑の為、熱中症で毎日何人も救急車で運ばれ、テレビでは観測史上はじめての長い夏日と喧伝されている。(猛暑日・熱帯夜とも) それもその筈、川の魚さえ水の温度が上がってしまって、煮魚になって熱中死?という惨状を呈している始末である。

熊谷市はこの暑さ(昨年8月16日、40.9度)で、昨年より熊谷駅にミストシャワーを設置、正面口・南口・東口の3か所で冷却ミスト装置の自動運転を開始しており、是非とも一度は経験されたい。ところが特に暑いおかげで、熊谷名物のかき氷の「雪くま」も売れに売れているという。印刷需要も斯くありたいもの。

サテ、日本一の暑さを誇る熊谷、その熊谷のある埼玉スポーツ文化公園の公式ソフトボール場で、恒例になっております第15回ソフトボール大会を開催しました。当日の天気は朝のうちは小雨があり、なによりの心配な暑さも、ちっとも気にならない。

今年は強豪の太洋社チームが、地元の大会との調整がつかずに欠場、行田の三共社チームも準備不足ということで、参加チームは十四日会チームと三興社チーム。総員あわせても20名足らず。どうしたものかと気をもむうち、そこはそれ、海に千年、山に千年の猛者揃い。練習方法をそれなりに工夫し、ベテラン選手は内野守備で、守備見本を遺憾なく発揮してご披露。バッターボックスに立つのも、あまり待たずに順番が来るので、練習密度・効果は抜群である。今回はその練習風景をじっくり拝見しました。

暑いぞ、熊谷 ソフトボール観戦記 深町 満夫

来年度の実施は参加チームの諸々の事情をくみあげ、継続するための知恵と工夫がより求められているのではないかと思いました。





計報

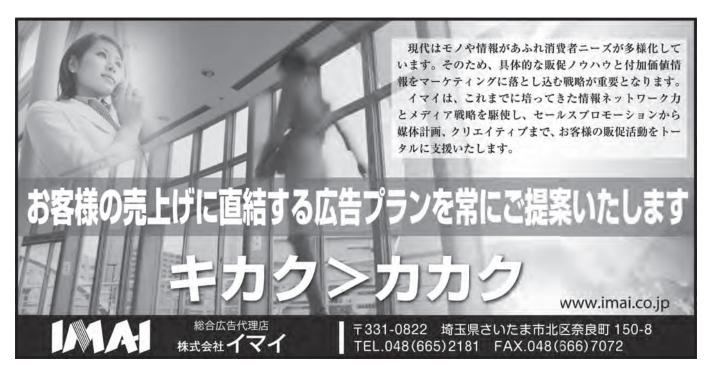
 8月16日
 (有)小暮印刷
 (熊谷支部) 社 長 神山 博様

 9月4日
 (有)野口印刷
 (熊谷支部) ご母堂 野口 すい様

 10月8日
 (株)櫻井印刷所(川越支部) ご母堂 櫻井 隆子様

 11月6日
 山進社印刷(株)(本庄支部) ご令室 山田 薫様

 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



埼玉発全国区



200年の「技」と「心」を伝えたい

さいたま市内の酒蔵、株小山本家酒造は創業二百年を迎えました。 皆様のご支援のもと東目本No.1の生産・出荷量の日本酒メーカーに 成長させていただきました。二百周年記念として地元の皆様のご愛顧 に感謝し、埼玉県内限定で発売いたしました。

「清酒の地産地消」をコンセプトに生産農家が明確な「県産米」、 蔵内で二百年湧き続ける「天然水」を主原料に

大吟醸と同等の手間ひまをかけ長期低温発酵させた高品質でリーズ ナブルな特別本醸造です。

未来へつなぐ第一歩!

埼玉県の川を日本一の清流にするため、埼玉県NPOの基金 に寄付し、「みどりと川の再生」活動に協力しています。

> 創業文化五年(1808年) 株式会社小山本家酒造 (さいたま市西区)



金紋

紙 作

刷(株) + L ΕD



杉山

誠



初夏の朝

杉山 誠



古杉 正男